

令和5年度第1回 名張市地域公共交通会議 議事概要

日 時 令和5年8月2日（水）

午後2時00分より

場 所 名張市民センター2階 集会室

出席者：（敬称略）

（1）委員

堀越 光春 （市民公募）

澤田 恭子 （市民公募）

古谷 久人 （地域づくり代表者会議副会長）

喜多村 明美 （名張市老人クラブ連合会女性部副会長）

山根 秀生 （名張市身体障害者互助会事務局長）

勝木 祥文 （名張商工会議所総合商業部会長）

中平 恭之 （近畿大学工業高等専門学校総合システム工学科教授）

樋口 恵一 （大同大学工学部建築学科准教授）

平岡 祐一 （三重交通株式会社伊賀営業所所長）

木谷 等 （代理出席、株式会社キタモリバス事業部）

橋本 智幸 （株式会社メイハン取締役部長）

前田 敦志 （一般社団法人三重県タクシー協会伊賀支部支部長）

瀧本 和広 （近畿日本鉄道名張駅駅長）

豊永 育子 （公益社団法人三重県バス協会）

尾上 義文 （三重交通労働組合伊賀支部支部長）

田畑 賢一 （名張警察署交通課課長）

前葉 光司 （国土交通省中部運輸局三重運輸支局首席運輸企画専門官）

松島 昇平 （代理出席、三重県地域連携部交通政策課主事）

中村 岳彦 （名張市副市長）

伊集院 時仁 （名張市都市整備部部長）

吉岡 恵子 （名張市地域環境部部長）

（2）オブザーバー

田中 真一 （三重交通株式会社伊賀営業所総務係長兼営業係長）

（3）事務局

都市整備部 都市計画室 3名

会議の公開・非公開：公開

傍聴人：1名

## 議 題

- 協議案件 1 役員の選出について
- 協議案件 2 事業推進部会員の指名について
- 協議案件 3 令和 4 年度事業報告について
- 協議案件 4 事業進捗管理・評価について
- 協議案件 5 令和 4 年度名張市地域公共交通網形成計画の評価について
- 協議案件 6 令和 4 年度収支決算について
- 協議案件 7 令和 5 年度名張市地域公共交通会議 事業計画（案）について
- 協議案件 8 令和 5 年度収支予算（案）について
- 協議案件 9 名張市地域公共交通連携協議会規約の改正について
- 報告案件 1 令和 3 年度名張市地域公共交通網形成計画の二次評価について
- 報告案件 2 事業推進部会 事業報告（案）及び事業計画（案）について

## 議事内容

1. 開会
2. 会長あいさつ
3. 議事

### 協議案件 1 役員の選出について 審議結果：【承認】

（事務局より説明）

役員の選出を行い、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に基づく会議は、副会長兼座長に中平委員、監事に古谷委員・浅田委員に決定しました。「道路運送法」に基づく会議は、会長に中平委員、副会長に伊集院委員に決定しました。

●質問、意見なし

## 活発で良い議論ができる会議のために

（国土交通省中部運輸局三重運輸支局前葉委員より資料に基づき説明）

### 協議案件 2 事業推進部会員の指名について 審議結果：【承認】

（会長より資料に基づき説明）

会 長 事業推進部会の構成員について、設置要領の第 3 条に基づき委員を指名します。

●質問、意見なし

### 協議案件 3 令和 4 年度事業報告について 審議結果：【承認】

（事前に資料配布のため説明は省略）

●質問、意見なし

### 協議案件 4 事業進捗管理・評価について 審議結果：【承認】

（事務局により資料に基づき説明）

- 座 長 資料4-3については、本会議での意見を反映しますので、ぜひご活発なご意見をいただけたらと思います。何かございませんでしょうか。
- 後ほど三重運輸支局より説明があるかと思いますが、タクシーの制度の変更や交通空白地の定義の明白化など制度面での変更があります。自家用有償旅客運送の費用面での緩和も考えられるので、それらを踏まえて今後あららぎ号をはじめとする人口が密集していない地域について考えられます。
- 全体的によく聞くのが、乗り方がわからないという声もあるので、周知についてすべてのコミュニティバスにおいて検討課題として挙げられます。
- 委 員 コミュニティバスの利用者数について、令和3年度から令和4年度の実績を見てみると、横ばいやプラスに転じており良い傾向がみられます。みどり号については利用者数の減数が大きいと感じます。
- 座 長 みどり号の減少について事務局からなにかありますか。
- 事務局 地域の方より、団地の徒歩圏にスーパーができ徒歩での移動が可能となりバスの利用者の減少につながっていると聞いています。また、市道赤阪夏秋線の暫定供用を受け、新たなルートや車両の小型化など試行錯誤していますので、今年度も一緒に検討する予定です。
- 座 長 みどり号は狭い地域を走っているのでも、対象人数が少ないこともあります。いずれにしても、路線については狭い地域を効率よく走らせるというところでアイデアがあるかと思っています。
- 委 員 質問ですが、各コミュニティバスの協賛金についてはどういった収益となっていますか。
- 事務局 ナッキー号は、市内の4社よりいただいています。運営費用に充当し活用しています。今後も広く周知をさせていただきたいと考えています。地域のコミュニティバスについては、運行協議会が地域の事業所様へ直接伺い協力依頼をしています。そのため、地域間で差が生じています。
- 座 長 委員の皆様も、ぜひ近隣の事業者にも協力を呼びかけてください。
- 委 員 ほっとバス錦について、今年度運行事業者への委託料を減額しており異議はありませんが、今後このような形で運行経費を減らすのは考えにくくなります。労働環境の改善のために運賃や委託料は生命線であり、委託料による運行費の削減ばかりに着目しているのは危険だと少し感じました。運行範囲が広く路線は長大であるので、地域性をとらえるのが難しいと感じます。そのあたりの地域性や利用促進のやり易さや難しさはいかがですか。
- 事務局 ご意見いただいたとおり、長い路線ですので地域の中で様々な工夫をしていただいています。例えば、チケットの販売や地域の文化祭でバスを利用するなど地域ぐるみで利用促進を図っていただいています。協賛事業者を募るなど、地域づくり協議会と運行協議会が密に連携しています。また、地域内の観光資源を活かしてハイキングコースの整備など地域外からの集客のためにも、工夫をしています。
- 委 員 ありがとうございます。広い地域で地域づくり協議会との連携という点では良い取組と思いますが、チケットの件ですと、バス停沿線の住民にしかメリットがないというところ

ろから、地域全体で運用することは難しいのだろうと想像します。ただ将来に渡って、鉄道とプラスアルファの移動手段を、南北方向で維持するという観点においては、広域的な観点での維持や存続といったテーマも、視野に入れていくべきなのかなと感じました。そこで質問させていただきました。

座 長 そのほかご意見ご質問はございませんでしょうか。

委 員 協賛について、三重交通のバスは協賛というよりかは広告料として協賛いただいています。例えばそのように企業の広告と捉えるのであれば、地域にこだわらず市内全域の企業に、すべてのコミュニティバスへご協力いただけるのかと思います。先ほどチケット制の話が出ていたが、全国でIC化が進んでいるので長期的にみるとIC化についても考える必要があると思います。

事務局 協賛については、ナッキー号は企業名のステッカーを広告というような形で車体に貼ってPRを進めています。IC化については、ナッキー号を筆頭に進めていきたいです。

座 長 ICカードについてはどうですか。

事務局 IC化はナッキー号と地域コミュニティバスとの連携をしていますので、利用促進のため理解はしています。導入の費用面やご協力いただいている交通事業者の設備投資が出てくるので、時間はかかるが前向きに考えています。

座 長 すべてのコミュニティバスに広告が出せるので協賛金をお願いするというのは、これまでなかった考えですので面白い取組だと思います。今後ご検討いただければと思います。他にご意見ご質問はございませんでしょうか。

委 員 ナッキー号は市街地循環型コミュニティバスで、地域コミュニティバスとも連携ができており非常に便利です。しかし、桔梗が丘は人口1万4千人ほどいるが、バスは三重交通の桔梗が丘循環しかなく、桔梗が丘8番町や桔梗が丘西など全くバスが走っていない交通空白地も残されています。ナッキー号について、桔梗が丘の新しい地域運行も考えるのはどうですか。地図上でみると近いが、アップダウンがある地区です。

事務局 桔梗が丘については、市民からのご意見でも挙げられています。ご指摘いただいている桔梗が丘8番町あたりは駅から500m以上離れている不便地になります。ナッキー号に限らず、他のコミュニティバスと連携しルートに加えていただくのも一つの方法としてあるので、はたっこ号・みどり号・コモコモ号などと連携するのも一つの方法です。連携協議会でも各地域と相談させていただきたいです。

委 員 コモコモ号やはたっこ号が桔梗が丘方面を走るということですか。

事務局 例えば複数の地域で連携するのも検討の一つだと考えています。

座 長 以前の会議において、複数地域で連携し運行する場合は、議会での承認が必要であり、今の制度ではできないとの話でありましたが、いかがですか。

事務局 補助金の交付要綱が地域ごととなっていますので、要綱や補助制度の改正が必要となります。そのためすぐには難しいが、連携協議会や法定協議会を踏まえて考えていきたいです。また、交通事業者や地域の運行協議会の考えもあるので、いくつかハードルはあるが連携協議会で詰めて検討したいです。

座 長 ありがとうございます。はたっこ号、コモコモ号について何かご意見いただけないでし

ようか。

委員 資料の評価項目のうち満足度について、地域間で差があり100%というのものもあるがどうしてか。

事務局 乗り込み調査の数字であり、母数も異なるので地域間でばらつきがあります。

座長 アンケートでの利用者満足度は、高く出る傾向にあります。特にあららぎ号は利用者が少ないのでおおよそ満足であるという結果につながっているのではないのでしょうか。

委員 コモコモ号とはたっこ号について、初歩的な質問になるのですが当該地域の方は生活を営む上での最低限の買い物や通院は路線上でできるのかそうではないのか。

事務局 はたっこ号は、路線上にあります。買い物は地域内のオークワ名張西原店に乗り入れを行うことで利用者数は回復傾向にあると伺っています。ただし、買い物から帰る時間帯にバスがないため再編成も検討しています。コモコモ号は、以前は桔梗が丘駅前にあった商業施設を利用していたが、閉店に伴い利用できなくなりました。しかし、オークワ名張西原店のそばにバス停があるので利用することはできます。

委員 スーパー以外だと、病院は名張市立病院を利用されていますか。

事務局 様々な病院に行っていると思われます。コミュニティバスを利用しているのか家族や病院の送迎なのか地域の実態については今後アンケート等で把握することを検討しています。

委員 2路線とも曜日運行をされているので、こういった使い方をするのか知りたかったです。コミュニティバスからナッキー号に乗り継いで利用するためには、結節点のダイヤの接続など乗り継ぎが大事になるが、そういった点は配慮しているのか。

事務局 乗り継ぎを意識したダイヤ編成は行っています。編成の際にも、接続を意識し対応を行いたいです。

委員 接続や乗り換えなどの細かいところの対応が必要だと思います。

座長 ほかに意見はございませんか。

委員 利用者からの声として、コミュニティバスの土日運行がなく不便だという声と、希中央にもう少し増やしてほしいと聞いています。

事務局 土日運行は法律的にできないわけではないが、利用者数と委託料のバランスを考慮しています。利便性の向上を図るのであれば、現在の運賃100円の見直しも視野にいれ検討していきたいです。ほっとバス錦のように土日の観光利用を行う場合は、土日の運行も検討したいです。今後サービス向上と利用促進を進めていきたいと考えています。

座長 運賃が100円でよいのかの議論をそろそろしていかないといけないと思います。運行を継続するためには、もう少し利用者負担があってもいいと思います。実際に利用者アンケートをとると100円でなくてもよいという意見もたくさんありますので、分析結果を皆さんに開示し検討させていただけたらと思います。

座長 ほかにご意見はございませんか。ないようですので、協議案件5について事務局よりご説明をお願いいたします。

**協議案件5 令和4年度名張市地域公共交通網形成計画の評価について 審議結果：【承認】**

(事務局より資料に基づき説明)

●質問、意見なし

**協議案件6 令和4年度収支決算について 審議結果：【承認】**

(監査委員より説明)

委員 名張市地域公共交通会議規約第6条第4項により、令和4年度名張市地域公共交通会議会計について監査したところ、その内容は適正なものと認めます。

●質問、意見なし

**協議案件7 令和5年度名張市地域公共交通会議 事業計画(案)について 審議結果：【承認】**

(事務局より資料に基づき説明)

座長 名張市との共同研究について、本校に税金の無駄使いをするなどというクレームがありましたが、本事業は0予算でしており税金は使っておりませんのでここで報告させていただきます。

委員 事業9の名張ケンコーマイレージ制度との連携については、ナッキー号以外の地域のコミュニティバスも対象としているのか。

事業11のバスへの愛着(マイバス意識)を高める事業について、住民による各種活動について、あまり知られていないように思うが、各運行協議会が各地域向けに利要促進を展開していくのが良いかと思えます。事業報告をみると、地域間で差があるがそのあたりの足並みは各運行協議会に任せている状況なのでしょうか。

事務局 事業9については、ナッキー号のみです。地域のコミュニティバスは料金が一定でないこともあり、今はナッキー号のみ対象です。

事業11については、連携協議会を開催し各地域での取組を共有し連携をとっています。良い事業については、持ち帰っていただき各地域で展開していただいています。

委員 事業13に関連し、参考にコメントさせていただきます。公共交通を利用していただきたい層としては移動制約者(通勤、通学、観光も含む)という広くくりの中で、福祉部局のケアマネジャーさんや介護部局の住民と対峙する方は、意外と公共交通について、あまりご存じではないことがあります。免許返納や車が乗れなくなった時に福祉部局の方と関わることが多いが、その際に移動手段の情報として提供ができていないという自治体や事例が多いように感じています。庁内連携や他部局の連携という意味では、色んな人が公共交通について説明できる準備が必要だと思われま。そのあたりは、今後の計画期間の中で庁内連携を含め協議いただけたらと思います。公共交通の会議で発言するかは迷ったのですが、私自身シニアカーのシェアリングや共同企画を研究でしています。この辺りでは、例えば桔梗が丘の団地内があってある程度近いので、バスでの接合も大事ですが、ラストワンマイルの手段としてシニアカーを活用するのもいいのではないかと考えています。

座長 ありがとうございます。そのほか、ございませんでしょうか。

## 協議案件 8 令和 5 年度収支予算（案）について 審議結果：【承認】

（事務局より資料に基づき説明）

●質問、意見なし

## 協議案件 9 名張市地域公共交通連携協議会規約の改正について 審議結果：【承認】

（事務局より資料に基づき説明）

●質問、意見なし

座長 これでは協議案件は終了となりますが、何かご意見ご質問ございませんでしょうか。

委員 私は百合が丘で生活しているものです。名張市内の高校が 3 校から 2 校に減り、青峰高校への通学が以前よりたくさんいらっしゃるようになってきています。帰宅する際に、バスを待つより、徒歩の方が早いのでと歩いている方が見受けられます。通学時の便数について、現状でギリギリ足りているので、これ以上減便となると学生は不安であり、青峰高校の学校としての魅力に影響が出てしまいます。そうならないように、現状の維持や特にテスト期間中に融通していただけたら周辺住民としてはありがたいです。

委員 青峰高校の方は、定期券もご利用いただいております、学校とも協議し、必ず全員乗っていただけるように対応しています。今後もそのようにいたします。

座長 需要があるところには事業所様にぜひともご協力いただければと思います。本校においてもテスト期間等は増便していただいたりしています。今後も調整をしていただけたらと思います。

座長 それでは、協議案件には終了いたします。

事務局 引き続き報告事項を進めさせていただきます。

## 報告案件 1 令和 3 年度名張市地域公共交通網形成計画の二次評価について

（事務局より資料に基づき説明）

委員 報告案件①の評価については、毎年 2 月ごろに運輸局で現状を評価し、今後の方針について助言していただくような仕組みです。定期的な事業評価は大事であり、詳しくは次の HP に資料を掲載していますので、ご確認いただければと思います。

国土交通省中部運輸局. “定期的に評価をしましょう”. 国土交通省. 2023. 3.

[https://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/content/R4\\_hyouka.pdf](https://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/content/R4_hyouka.pdf)（参照 2023. 8. 31）

## 報告案件 2 事業推進部会 事業報告（案）及び事業計画（案）について

（事前に資料配布のため説明は省略）

委員 報告案件②- 2 の⑤商業施設等への乗り入れの強化についてですが、名張市内で乗り入れができていない所或いは乗り入れしている所はどこですか。

事務局 乗り入れをしている施設についてご説明いたします。乗り入れを行っているのは、ドンキ UNY 名張店で敷地内に停留所を設置しています。イオン名張店は近くに停留所を作っています。後ほど道路運送法の会議で協議しますが、マックスバリュ名張店へは現在

乗り入れを検討しています。

委員 商業施設は公共交通があるとプラスになることは明白なのですが、体の不自由な方や高齢の方は思い荷物を持って、バス停まで歩くというのが負担になります。ぜひ地域でも大いに協力していただけたらと思います。それと、公共交通について、周知することは一生懸命しているが、運営が困っていることやバスがなくなることはあまり市民に知られていないので、強くアピールすることで色んな協力が得られると思うし、地域の事業者へもアピールすることで公共交通を維持できるのではないのでしょうか。

事務局 ありがとうございます。商業施設への乗り入れについては、ほっとバス錦がビバホーム、はたっこ号をオークワ西原店に乗り入れていただくなど進めていただいています。もう一点、危機感を持った周知の仕方について工夫して進めさせていただきたいと思います。貴重なご意見ありがとうございます。

事務局 他に何かご意見ご質問ございませんでしょうか。

### 「ラストワンマイル・モビリティ/自動車DX・GXに関する検討会」

(国土交通省中部運輸局三重運輸支局前葉委員より資料に基づき説明)

事務局 長時間に渡りご審議いただきありがとうございました。

会長 本日は色んなご意見をいただき本当にありがとうございました。安心して住みたい場所に住み続けるためには、地域公共交通の役割は非常に大きいと感じています。一方名張市内は人口減少が地域別にみると進んでいる地域もございます。先ほどご指摘いただきました運行の手法や、福祉サービスとの連携や役割分担を進めていく必要があるということで、部内でも、福祉部局との連携を今まさに進めています。また各委員の皆様からいただいたご意見の中で、協賛金であったり、利用者や地域だけでなく様々な人々に支えていただく取組や仕組みも必要であったり、一方で観光に来られた方など、地域に住んでいる方だけでなく外部の方からも支えていただくようなご意見もいただきました。また一方で、サービスの向上等を図るためにデジタル技術やIC技術の活用など様々な検討を重ねていくうえで、皆様からいただいたご意見は非常に参考にさせていただきますし、取組の方向性を示させていただくものとなりますので、引き続きどうぞよろしく願いいたします。ありがとうございました。